

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol. 20をお届けいたします。

f facebook



6月のTOPICS

- ☆ 第60回日本糖尿病学会年次学術集会でのご発表ピックアップ
- ☆ 6月・7月の学会展示のご案内

第60回日本糖尿病学会年次学術集会・弊社共催イブニングセミナーについて

5月18日(木)～20日(土)に名古屋国際会議場ほかで開催されました第60回日本糖尿病学会年次学術集会におきまして、イブニングセミナーを共催させていただきました。当日は予定を上回る多くの先生方にご臨席賜り、お蔭をもちまして大変盛況のうちに終えることが出来ました。この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

■ 第60回日本糖尿病学会年次学術集会ではユネクスイーエフを使用したご発表が16演題ありました その中から2件のご発表をピックアップしました。

※その他の発表内容は弊社HPよりお問合せください。

- 2型糖尿病患者におけるダパグリフロジンは12週間でFMD値を有意に改善させる
熊谷 郷美 先生(昭和大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)

【要約】2型糖尿病患者にSGLT2阻害薬(ダパグリフロジン)の12週間投与し、投薬前後でFMD検査を施行し内皮機能改善効果を検討した。FMD値は12週間で有意に改善($5.4 \pm 1.4\%$ vs $6.6 \pm 2.4\%$ $p < 0.05$)し、その変化量は血糖、血圧、体重、脂質の変化量と相関しなかった。

- The impact of endothelial malfunction and postprandial hyperglycemia on adverse events among type 2 diabetic patients

佐藤 哲彦 先生(増子記念病院/名古屋第二赤十字病院糖尿病・内分泌内科)

【要約】糖尿病患者108人の観察研究を行い、その後の主要な有害心血管イベントを含む複合エンドポイントを30ヶ月間調査した。FMDと食後1時間の血糖値は負の相関を示した。

ロジスティック回帰分析の結果、eGFR、食後1時間の血糖値およびFMDは複合エンドポイントと関連していた。食後の高血糖を媒介する内皮機能不全は、将来の有害事象を予測する可能性がある。

■ 6月・7月の学会展示のご案内

SVM 28th Annual Scientific Sessions

会 期：JUNE 14-17, 2017
会 場：New Orleans, LA USA

第123回日本循環器学会近畿地方会

会 期：6月24日(土)
会 場：大阪国際交流センター

第110回日本循環器学会中国・四国合同地方会

会 期：6月30日(金)・7月1日(土)
会 場：高知市文化プラザかるぼーと

第49回日本動脈硬化学会総会・学術集会

会 期：7月6日(木)・7月7日(金)
会 場：グランドプリンスホテル広島